



# 下久堅のたから

飯田市立下久堅小学校  
学校だより No.4  
令和4年6月20日

<http://simosc.ed.iidanet.jp/> 文責:会津

## 潤い、瑞々しい夏至の候

### これからの学校・教育

6月13日(月)に臨時学校運営協議会が開催されました。最初に飯田市教育委員会から児童生徒数の推移や学校施設の説明があり、これを受けて委員の皆様が学校の役割やこれからの学びについて自由に意見を交わしました。小グループに分かれての意見交換は今回初の試みです。

生き方や学び方を含む総合的な「学力」の向上、学校グランドデザインの中にもある「地域の中での原体験」の重視、保育園と小学校・中学校を貫く支援など、様々な視点からご意見をいただきました。

貴重なご意見を参考にして、教育委員会と学校、地域や家庭が協力して子どもを育てる環境をよりよく整えることができるとういと考えます。



### 人やものとの関わり

新型コロナウイルス感染警戒レベルが引き下げられ、今のところ、社会見学や遠足もほぼ計画通りに行うことができます。

先月より新たな学習ボランティアの方が支援に入ってくださいようになり、低学年の学習指導がさらに手厚くなりました。また、別の学年では外部講師による箏(こと)の指導も行われました。箏の音階は「ドレミ…」ではなく「一二三…十斗為巾」で表されることを教えていただき、実際に爪をつけて弦をつま弾いてみました。友だちが見やすいように楽譜を持つという、思いやりを感じさせる姿も見られました。

本物から学ぶ機会が少しずつ増えてきました。



↑ 4年生は「水はどこから」、「ごみのしよりと利用」の学習で社会見学へ。



↑ 「七・七・八、七・七・八」と箏の音階を唱えながら、「さくらさくら」を弾きました。

### おかげさまで

6月12日(日)にPTA作業が行われました。休日ではありますが、施設部の皆様をはじめ、多くの方々に参加いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

普段手が届きにくい場所も丁寧に整備していただき、環境がさらによくなりました。きれいな校舎や校庭で精一杯学習して1学期を終え、夏休みを迎えたいと思います。

刈払機で草を刈ると、初夏を感じさせる緑の香りがしました。まさに潤いを感じさせる、「生きている」という香りでした。



↑ ボランティアの方と、形を写し取る学習をしています。



↑ 2年生は電車を使って郵便局などを見学しました。

### 初夏の校内にて

6月上旬、職員室前の花々が次々に咲きました。花の赤色と葉の緑色のコントラストが美しい季節でした。

一方、各学年の理科の学習では外に出ての観察が多くなってきました。タブレットで草木の様子を撮影したり、芽の様子を学習帳に記入したりと、従来の学習方法に加え、ICTの活用を図っています。



↑ アドバイスしながら植物の生長(成長)観察。このクラスの子どもたちは、芽の先にヒマワリの種の殻がついていたことがおもしろかったようです。

# 道具は使い方で決まる

セーフティネット総合研究所代表理事である南澤信之先生をお迎えし、「情報モラル講演会」を実施しました。他校でもPTA講演会等でもお話をされている内容ですが、子どもたちも真剣に聞き入っていました。終わった後も子どもたちは「ネットやゲームを長い時間やってしまったら、その分長く休めばいいのかな」、「将棋やボードゲームはコンピュータゲームと違うのかな」という質問をしていました。

学級だよりで講演会の様子をお伝えしている場合もありますが、改めて南澤先生のお話の内容を載せさせていただきます。

## 【ICT 機器と情報】

- ICT 機器はハサミと同じ。道具であるから、使ったらしましましょう。
- 情報はモノとして扱う。インターネットの情報には権利がある。右クリックすれば簡単にコピーできてしまうが、情報を使うときは許可を得る必要がある。
- インターネットで調べられることは「一部」である。一部分だけではわからない。全体を見ると、情報に触れた後に「不思議」だと疑問に思うことが大切。
- 「これを見たら他の人はどう思うだろう」と考えること。同じものを見ても人によって感じ方や捉え方が違うことを頭に置くべきだ。

## 【オンラインゲームについて】

- オンラインゲームは同じ興味や考え方をもった人が集まる。だから楽しい。違う考えをもった友だちと意見を述べ合うより、「ネットの世界で同じような人とつながった方が楽である」と考えるのは当然である。
- 同じ好みをもっていることを利用してキャラクターやアイテムなどで「わな」を仕掛けてくる。
- 20分以上利用したら支障が出るものという基準でゲームの年齢制限を設けている。年齢制限を破ると、前頭葉に悪い刺激を与え、脳の発達に影響がでる危険性が高くなる。小学生の段階で脳の発達に支障があれば、将来にも影響が出る。

## 【医学的に見たインターネット・ゲーム・スマートフォンの利用】

- 「1時間の壁」を越えないこと。1時間は自己回復力が持続する限界。これを越えると体調不良、イライラ、無気力などの症状が出てくる。
- ドーパミン（快を感じるための神経伝達物質）の分泌異常により依存につながりやすい。また脳が睡眠モードにならず、何時間寝ても疲れが取れないため、寝る前の1時間は利用を控えるとよい。

## 【ネットとうまくつき合うために】

- 軽い気持ちでやった画像のアップや個人的なコンタクトが犯罪や命の危険につながる。
- 人の弱さにつけこんでくる人、甘い言葉をかける人は真の理解者ではない。その人のことを強く思っているからこそ、親や先生は厳しいことを言う。
- 自分の生活は自分で決めていきたい。オンとオフの区別をつけ、ネットから離れる時間を設けたい。予定を目に見える形で書いてもよい。
- ネットやゲームの利用は1回30分以内。15分以上休憩を取る。そして1日1時間以内で。
- 20分画面を見たら20秒間、20フィート（約6m）先を見るという「3つの20」を意識することで目の健康を保とう。
- 本を読むと眠くなるというのは、脳がリラックスモードになっているということで、健康な証拠。ぜひ、読書しよう。



- 「何で来たの？」という文の「何で」という言葉は、その受け手の心がどんな状態かによって「どのように」という手段ともとれるし、「なぜ」という理由ともとれる。「なぜ来たの？」と捉えようと、ケンカを売っているという印象を与えかねない。
- このように、一部だけを切り取られ、誤解を招きやすいネット上の表現は危険である。だから、ネット上には事実と要件のみで、「あの人って～だよな」というような、他人に関することや感情を書いてはいけない。
- 顔を見ていないからこそ、思い込みが大きくなる。「わかっているはずである」、「自分の思いは伝わったはずである」というような「はずである」はない。誰が見ても同じ捉え方ができるように、丁寧にわかりやすく伝えること。
- ネットでは情報ではなく感情が拡散しやすい。
- 聴く力をつける。耳と目と心で「聴」という字ができています。「ながら」をやめ、顔をしっかりと見て会話する。心でつながることを大切にしたい。どんなことでも顔を見て親や先生に相談を。



### 子どもの感想より

- ・知らない人とゲーム上で友だちになってはいけないことがよくわかりました。ゲームを長い時間やると、のうのはったつが悪くなるので、ゲームは時計を見ながら、年れいせいげんに気をつけてやりたいです。
- ・前は、年れいせいげんのことを知らなかったけれど、このこうえん会でお話を聞いてから、年れいせいげんのあるゲームをしなくなりました。
- ・のうがはたらかなくならないように、「1時間のかべ」をこえないようにしたい。
- ・親といっしょでないとゲームを買わないという意味がよくわかった。
- ・親とゲームや動画を見る時間を決めていきたいです。

## 学校から

「年齢別レーティング制度」とは、倫理規定に基づいた年齢区分をゲームソフトに表示することにより、含まれる表現内容の対象年齢がわかるよう、特定非営利活動法人コンピュータ・エンタテインメント・レーティング機構（略称：CERO）が設けたものです。

区分はA～DとZまであり、区分を示すマークはゲームのパッケージの表面左下部分と背表紙に帯色をつけて表示されます。CEROは、小学生には全年齢対象である「A」（黒色）のゲームを購入するのが望ましいとしています。

- A（黒色）：全年齢対象であるもの
- B（緑色）：12歳以上を対象とする表現内容が含まれるもの
- C（青色）：15歳以上を対象とする表現内容が含まれるもの
- D（橙色）：17歳以上を対象とする表現内容が含まれるもの
- Z（赤色）：18歳以上を対象とする表現内容が含まれるもの  
（18歳未満者に対し販売したり頒布したりしないことを前提とする区分）

（CERO ホームページより引用）

研究によると、平安時代の人々が一生の間に受け取る情報量を、現代人はわずか1日で受け取っているそうです。特に映像は多くの情報量を含んでおり、その処理のために脳は知らないうちにフル稼働しています。社会の仕組みは大きく変化しましたが、他方、人間の器官や体の機能は昔とそれほど変化しておらず、その意味では環境と生身の人間との間には大きな差があるといえます。

「ノーメディアデー」を定めているところもあるようです。学校でも折に触れて子どもと確認していきますが、ご家庭でもメディアとの付き合い方について話し合っただけだとありがたいです。



## 7月の予定

- 1日(金) PTA 総務部会
- 4日(月) 時間割Ⅱ期開始
- 5日(火) クラブ④
- 6日(水) **スクールカウンセラー来校(午前) ※訪問日変更**  
地区児童会②・一斉下校  
地区懇談会
- 8日(金) 社会見学(5年)
- 11日(月) トロロアオイ間引き(1年)
- 12日(火) 児童会⑥
- 19日(月) 学期末清掃(～25日)
- 22日(金) 全校5時間授業
- 25日(月) 全校5時間授業
- 26日(火) 1学期終業式(3時間授業給食なし)
- 27日(水) 夏休み(～8月23日)

すでにお知らせしたとおり、当初7月1日(金)に予定していた音楽会は、11月2日(水)に延期となりました。

### 「結いの日」について 7月17日(日) (毎月第3日曜日)

飯田市をあげての取り組みとして「わが家の結いタイム」(家族と一緒に過ごし心を通わせるひと時)という取組があります。

- ①みんなで話そう スイッチを切って
- ②すくを出し みんなで お手伝い
- ③ひろげよう 親子の対話 読書から
- ④きもちよい 親子のふれあい あいさつから  
ご家庭での取り組みをお願いします。

※夏休み期間中、体育館と北校舎トイレの工事を行います

## お知らせ

### 「スクールカウンセラー相談日の変更」

来月のスクールカウンセラー来校日は当初、7月11日(月)の午後でしたが、諸般の事情により、7月6日(水)の午前に変更となりました。相談を希望される場合は、お気軽に教頭までお知らせください。

### 「体罰に関する県の相談窓口について」

長野県教育委員会より相談窓口の開設についての通知がありました。

- 子どもや保護者の声をお聴きします・・・  
「**学校生活相談センター**」(心の支援課内) **0120-0-78310**  
【24時間子どもSOSダイヤル】
- 小学校に関することは・・・  
**義務教育課 026-235-7426**
- 青少年に関することは・・・  
「**長野県子ども支援センター**」(こども・家庭課内)  
**子ども専用ダイヤル(無料) 0800-800-8035**  
「**なんでもハロー青少年**」(次世代サポート課内) **026-235-7100**

☆ 義務教育課では、封書、電話、ファックス、メール等で相談ができます。下記の宛先等をご活用ください。

宛先 長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」宛  
住所 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2  
電話 026-235-7426 (直通)  
FAX 026-235-7494  
E-mail [taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp](mailto:taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp)

下久堅小学校ホームページもご覧ください。

<http://simosc.ed.iidanet.jp/> (携帯やスマホはこちらのQRコードより→

